

せっちゃん

北摂・丹波支部

第122号 2009年7月5日



- 発 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
- 〒 650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
- 神戸フコク生命海岸通ビル5階
- TEL 078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802

「研修会を終えて」 済生会兵庫県病院 小川麻由美



新型インフルエンザが流行している中での研修会であり、各施設でもご多忙だったと察しますが、今回も大勢の方にご参加していただき、ありがとうございました。

今回の研修項目であった小児ウイルス性疾患は、小児だけの問題ではありません。麻疹などの流行は成人にも起こりうることですので、特に医療従事者は自分が病気にならないために、また病気を広めてしまわないためにも細心の注意が必要です。抗体価検査やワクチン接種など、コストもかかってくることですが、今後各施設でも検討が必要であると言われています。

今回の研修会では、防護服の正しい着脱方法も含めて、新型インフルエンザの最新情報と対策、各施設で取り組んでいくべき課題を述べさせていただきました。今回は皆様にアンケートにご協力していただきましたが、その結果より新型インフルエンザ対策の取り組みをされている施設が多いことを知り、大変心強く感じました。

現在の新型インフルエンザ対策として最新の内容をお伝えしましたが、今まで紙ベースで検討されていたことが今回は現実となり、行政も患者対応をする病院も右往左往しながら行っていたのが現状です。幸いにも今回の新型インフルエンザは弱毒性であったために、対応の緩和を図りながら診療に当たっていたのが現状でしたが、今年秋以降に強毒化して流行することを懸念されています。

そうなる前に、ぜひ皆様の施設でも新型インフルエンザの対策について検討していただきたいと思います。それらの検討を行うに当たっては、各施設においてハード面や人員確保の問題も生じてくることから、自分達の施設ではどこまでの対応が出来るのか、またどのような対策が取れるのかを、この機会に再度検討していただきたいと思います。そして、今後は即実践に結びつけることの出来る具体的な新型インフルエンザ対策のマニュアル作りを、是非とも各施設において検討していただきたいと願います。

次回の研修会では、当院における対応を含め、より具体的な対策についてお話させていただきたいと考えております。皆様におかれましては、各施設で可能な対策をある程度ご検討いただき、皆様と意見交換の場も含めて後半の研修会を行っていきたいと考えておりますのでよろしくお願ひ致します。また皆様と研修会でお会いできるのを楽しみにしています。



防護具の正しい使用方法について実演

「感染予防の考え方と正しい防護具の使用方法」では、「感染経路」を断ち切ることの重要性とその具体策について教えていただいた。「手指衛生の方法」「手袋」「マスク」など、日頃忙しさにかまけて疎かになりがちなことも、デモを交えて詳しく教えていただき、改めて理解を深めることができました。

「新型インフルエンザの対応」では、「新型インフルエンザ」流行の中、インフルエンザの成り立ちから毎日のようないアップデートされる最新情報まで教えていただいた。これらのことに基づいて、今後予想される第二波や鳥インフルエンザ等にも対応していきたいと思います。

「感染対策」においてはCDCガイドラインが広く認知・利用されていま



※当日新型インフルエンザ対策に関するアンケートを行った。裏面に結果を掲載。

「正しい感染対策とは?」

北摂・丹波支部は5月23日、改定医療法対策として4回目の「院内感染対策研修会」を開催し、54人が参加した。講師は引き続き済生会兵庫県病院感染管理認定看護師の小川麻由美氏。

水野良司先生（水野歯科医院・丹波市）の感想文を掲載します。

(兵庫保険医新聞7月15日号掲載予定)

小川先生による「院内感染対策研修会」は、毎回基本から具体例まで、懇切丁寧に教えていただけるので、とても楽しみにしている。今回は、以下の3つに分けて教えていただいた。

「小児ウイルス性疾患の対応」では、発症する前から感染期間があり、小児期だけではなく成人でも感染・発症するため、抗体価測定とワクチン接種が重要である。中でもワクチン接種歴や罹患歴は当てにならないとのことでし

た。



新型インフルエンザの感染拡大が懸念される中、今回も多数が参加（三田市・キッピーモール）

【感想文】